

山形県金融経済概況

1. 全体感

山形県の景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。

最終需要の動向をみると、公共投資は、大幅に増加している。設備投資は、横ばい圏内の動きとなっている。個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに回復している。住宅投資は、持ち直している。この間、生産は、緩やかに持ち直している。雇用・所得環境は、改善している。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は、前年を上回っている。

2. 需要項目別の動向

（1）公共投資・・・大幅に増加している

5月の公共工事請負金額は、国などの発注が減少したため、前年を下回った。

（図表1）公共工事請負金額 前年比、%

	2024 年 6 月	9 月	12 月	2025 年 3 月	4 月	5 月
山形県	▲3.2	11.8	▲45.8	62.3	17.2	▲28.9

＜資料＞東日本建設業保証(株)

（注）p は速報値、r は前回公表から掲載計数を改訂したもの（以下同じ）。

（2）設備投資・・・横ばい圏内の動きとなっている

3月短観の設備投資計画（全産業）をみると、2024年度は、製造業、非製造業ともに増加し、前年度を上回る計画となっている。一方、2025年度は、製造業、非製造業ともに減少し、前年度を下回る計画となっている。

この間、4月の建築着工床面積（民間非居住用）は、製造業などが増加したものの、農林水産業、卸売・小売などが減少したため、前年を下回った。

（図表2）県内企業の設備投資額（2025年3月山形短観） 前年度比、%

山形県	2023 年度(実績)	2024 年度(計画)	2025 年度(計画)
全産業	▲4.4	15.3< 5.5>	▲26.8
製造業	▲5.5	11.7< ▲0.8>	▲21.2
非製造業	▲2.1	22.4< 19.0>	▲36.7

＜資料＞日本銀行山形事務所

〈 〉内は前回調査比修正率、%

（図表3）建築着工床面積（民間非居住用） 前年比、%

	2024 年 6 月	9 月	12 月	2025 年 2 月	3 月	4 月
山形県	144.0	10.5	▲39.9	93.7	231.2	▲12.7

＜資料＞国土交通省

(3) 個人消費・・・一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに回復している

4月の販売額をみると、百貨店・スーパー（全店ベース）、コンビニエンスストア、ドラッグストアは、前年を上回った。ホームセンターは、前年を下回った。

(図表4) 百貨店・スーパー販売

前年比、%

山形県	2024年 7～9月	10～12月	2025年 1～3月	2025年 2月	3月	4月
全店	0.3	0.8	3.8	3.2	4.8	4.2
既存店	▲0.7	0.8	3.8	3.2	4.8	4.2

＜資料＞経済産業省

5月の乗用車新車新規登録・届出台数は、前年を下回った。

(図表5) 乗用車新車新規登録・届出台数

前年比、%

山形県	2024年 6月	9月	12月	2025年 3月	4月	5月
乗用車 合計	▲6.4	5.2	▲9.5	19.5	7.5	▲5.8
普通車	▲7.2	6.4	▲2.6	0.5	1.2	▲13.0
小型車	▲23.6	▲7.3	▲17.5	48.8	8.0	1.8
軽四輪	6.7	12.7	▲11.3	26.8	14.5	▲3.4

＜資料＞東北運輸局

この間、サービス消費は、飲食・宿泊を中心に緩やかに増加している。

(4) 住宅投資・・・持ち直している

4月の新設住宅着工戸数は、持家と貸家が減少したため、前年を下回った。

(図表6) 新設住宅着工戸数

前年比、%

	2024年 6月	9月	12月	2025年 2月	3月	4月
山形県	▲8.2	5.3	18.2	▲11.3	11.2	▲37.3
持家	13.9	0.0	28.1	▲2.5	35.3	▲42.9
貸家	114.1	16.1	6.5	▲8.2	▲19.2	▲34.1
分譲	▲87.8	▲2.9	4.8	▲31.0	34.5	0.0

＜資料＞国土交通省

3. 生産・・・緩やかに持ち直している

3月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月を上回った。業種別にみると、窯業・土石製品、木材・木製品など12業種は低下したものの、情報通信機械、化学など10業種は上昇した。在庫指数（季節調整済）は、前月を下回った。

（図表7）鉱工業指数

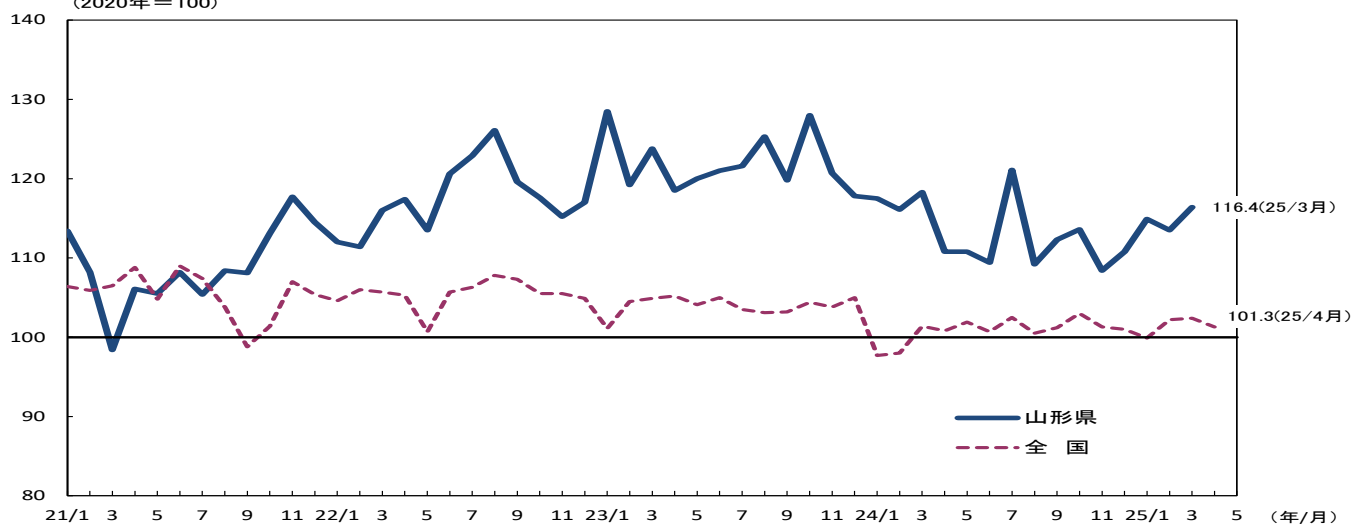
2020年基準

山形県		2024年 6月	9月	12月	2025年 1月	2月	3月
生 産	季節調整済前月比%	▲1.3	2.8	2.2	3.7	▲1.2	p 2.6
	原指数前年比%	▲13.2	▲7.0	▲4.1	▲2.2	▲1.6	p ▲1.6
在 庫	季節調整済前月比%	▲2.5	0.8	▲0.1	▲0.5	▲1.1	p ▲2.4
	原指数前年比%	▲3.0	0.4	▲6.7	▲3.9	▲5.5	p ▲12.5

＜資料＞山形県

（図表8）鉱工業生産指数（季節調整済）の推移

（2020年＝100）



＜資料＞経済産業省、山形県

4. 雇用・所得環境・・・改善している

4月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.34倍となった。業種別の新規求人数をみると、サービスなどが増加した一方、生活関連サービス・娯楽などが減少した。

（図表9）雇用関係指標（その1）

倍、%

山形県	2024年 7～9月	10～12月	2025年 1～3月	2025年 2月	3月	4月
有効求人倍率	1.35	1.33	1.35	1.33	1.35	1.34
完全失業率	1.9	1.6	1.8	—	—	—

＜資料＞総務省、山形労働局

（注）有効求人倍率の四半期データは、四半期末の水準。

3月の常用雇用指数は前年を下回った。所定外労働時間は前年を上回った。

(図表 10) 雇用関係指標 (その 2) 2020 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山 形 県	2024 年 6 月	9 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月
常用雇用指数	▲0.1	0.1	▲0.7	▲0.5	▲1.5	▲0.6
所定外労働時間	6.3	5.2	12.6	5.6	7.4	6.3

〈資料〉山形県

3月の現金給与総額(名目賃金指数)、きまって支給する給与ともに、前年を上回った。

(図表 11) 所得関係指標 2020 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山 形 県	2024 年 6 月	9 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月
現金給与総額 (名目賃金指数)	4.9	3.4	9.5	5.3	3.8	6.7
きまって支給 する給与	1.6	4.8	5.3	5.1	3.8	3.9

〈資料〉山形県

5. 企業倒産 . . . 倒産件数は、概ね前年並みとなっている

5月の企業倒産(負債額 10 百万円以上)は 13 件、負債総額は 16.6 億円となった(前年同月は 7 件、37.7 億円)。

(図表 12) 企業倒産 件、億円

山 形 県	2024 年 6 月	9 月	12 月	2025 年 3 月	4 月	5 月
件 数	6	6	11	9	7	13
負債総額	4.7	4.5	31.6	14.6	20.3	16.6

〈資料〉(株)東京商工リサーチ

6. 物価 . . . 前年を上回った

4月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、前年を上回った。

(図表 13) 消費者物価指数 2020 年基準、前年比、%

山 形 市	2024 年 6 月	9 月	12 月	2025 年 2 月	3 月	4 月
総 合	3.4	2.9	4.0	3.9	3.7	3.5
生鮮食品を除く総合	3.1	2.8	3.4	3.1	3.2	3.4

〈資料〉山形県

7. 金融

4 月の県内預金(銀行＋信用金庫)は、概ね前年並みで推移している。県内貸出(銀行＋信用金庫)は、前年を上回った。この間、貸出金利は、緩やかに上昇している。

(図表 14) 預金、貸出金 %

山 形 県	2024 年 6 月	9 月	12 月	2025 年 2 月	3 月	4 月
実質預金＋CD (末残前年比)	0.3	▲0.5	0.3	▲0.1	▲0.8	▲0.7
貸出金 (末残前年比)	4.3	3.4	4.1	3.8	2.6	3.3

＜資料＞日本銀行山形事務所

- (注) ・国内銀行（ゆうちょ銀行を除く）、信用金庫の県内全店舗を集計。
・銀行勘定（国内銀行についてはオフショア勘定を除く）を集計。
・実質預金とは、表面預金から未決済の小切手・手形を引いたもの。
・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。
・合併・新規出店、撤退等による残高調整は行っていない。

(図表 15) 貸出約定平均金利 %ポイント

山 形 県	2024 年 7～9 月	10～12 月	2025 年 1～3 月	2025 年 2 月	3 月	4 月
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	0.021	0.074	0.066	0.010	0.044	0.015

4 月末水準
1.060%

＜資料＞日本銀行山形事務所

- (注) 山形県内に本店を置く地銀・地銀Ⅱの貸出金利（銀行勘定の円貸出のうち、金融機関向け貸出を除いたもの）を貸出金残高（同）で加重平均したもの。

以 上

(内容に関するお問い合わせ先)
日本銀行山形事務所
TEL：023－622－4004